

| | |
|--------|--|
| 目指す学校像 | 建学の精神「人間是宝」の理想を掲げ、校訓「今日学べ」を推進し、生徒一人一人の内在する可能性を開発するため、多様な社会に貢献できる人材を育成する。 |
|--------|--|

| | | |
|----|---|------|
| 評価 | A | 高評価 |
| | B | 良好 |
| | C | 概ね良好 |
| | D | 要努力 |

| | |
|------|-----------------------------|
| 重点目標 | 1 学習指導（学力の向上とアクティブラーニングの推進） |
| | 2 生徒指導（担任による日常指導の徹底） |
| | 3 特別活動（学校行事・部活動） |

| | |
|-------|-----|
| 学校関係者 | 17名 |
| 教職員 | 20名 |

* 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 * 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に応じた「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | | | |
|-------------|--|--|---|--|---|-----|---|
| 年 度 目 標 | | | | 年 度 評 価 （3月） | | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ●アクティブラーニング型授業の一層の推進と充実 ●文武両立の進学校を目指し、日本の人材インフラ育成のための学習指導を充実させる | <ul style="list-style-type: none"> ●アクティブラーニングの推進 ●教員の指導力の向上 ●家庭学習の充実 ●基礎学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ●アクティブラーニング研修 ●0時限、放課後演習 ●特別指導（通年・夏期） ●スタディサプリ ●PDCA手帳の活用（学習時間の可視化） ●iPadの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ●国公立大学・難関大学合格数 ●センター試験受験率 | <ul style="list-style-type: none"> ●アクティブラーニング研究推進のため、教員間の授業見学を実施した。 ●国公立・大学校の合格者は41名、難関大学合格者は61名であり、看護系は17名の合格であった。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ●教員のさらなる指導力向上を目指す。 ●アクティブラーニングさらなる充実を図る。 ●ICT教育への取り組みを推進する。 ●学習量の指導ばかりでなく具体的な指導が必要である。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ●正しい生活習慣を身につけることにより、高校生としての自覚を持たせる ●基本的な生活習慣やマナーについて徹底指導し、社会に有為な人材を育成する | <ul style="list-style-type: none"> ●積極的な面談の実施 ●きめ細やかな生徒指導 ●いじめの早期発見、早期解決 | <ul style="list-style-type: none"> ●面談による生徒理解 ●生徒の生活習慣の把握 ●悩み事の早期発見 ●学年と生徒指導部との連携、情報共有 ●問題行動の事前防止 | <ul style="list-style-type: none"> ●積極的な面談の実施 ●アンケート等による早期発見、解決 ●生徒の個別状況の把握 | <ul style="list-style-type: none"> ●生徒との面談を実施。学習・生活面の状況を把握した。 ●担任とのコミュニケーションを意識させ、悩みの早期発見を図った。 ●家庭と情報を共有し、適切な指導を行った。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ●細部にまで配慮され、関係者の連携も努力されている。 ●問題行動への予防や初期対応等を組織的に対応することができた。 ●職員全員で対応し、各部署での連携を密に行う必要がある。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ文化活動を通して、人間教育をより一層推進する ●関東大会、全国大会に出場させている | <ul style="list-style-type: none"> ●関東大会、全国大会、国際大会出場 ●部活動加入率 | <ul style="list-style-type: none"> ●強化指定部活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ●関東大会、全国大会、国際大会出場部活動数とその成績 | <ul style="list-style-type: none"> ●委員会やボランティア活動など、生徒が活発に取り組んでいた。 ●生徒の良好なモチベーションの維持と、その向上に努めている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ●委員会や社会貢献などさらなる積極的な取り組みが必要である。 ●道徳講話や多くの講話の機会を増やしてほしい。 |

| 学校関係者評価 | |
|--|-----------|
| 実施日 | 令和2年6月10日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●アクティブラーニングを通じて、発言力が付き、他者の意見を知り、多角的に物事を捉えられるようになった。 ●理解が不足している生徒への補習などの対応してほしい。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●日頃から、先生方に、声かけを多くしていただいている。 ●生徒の身だしなみや、学生としての意識がきちんと身についている。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●文化祭・体育祭等の行事は活気があって良い。 ●少人数の部活動にもう少し手をかけてほしい。 | |